

令和7年度 第3回 浅間小学校学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年11月7日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 開催場所 浅間小学校 南校舎2階 会議室
- 3 出席委員 鈴木 秀志、高橋 与人、市原 美智恵、鈴木 明子、川合 正二
- 4 欠席委員 伊藤 元之、岡本 弥佐、岩崎 香織、加藤 好洋
- 5 学校支援コーディネーター 鈴木 由紀、佐藤 穂
- 6 学校 鈴木 啓二(校長)、土屋 里佳(教頭)、宮崎 由季(教務主任、CS担当職員) 栗田 加奈(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 栗田 加奈(CSディレクター)
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木明子委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

(1) 主体性を育む活動について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 主体性を育む活動について

協議会に先立ち5時間目の授業参観を行った。その後、議長の指示によりグループで話し合いが行われ、委員からは以下の発言があった。

(グループA 鈴木 秀志、鈴木 由紀、鈴木 啓二、栗田 加奈)

- ・子供たちが主体的に学ぶには体験が効果的である。
- ・地域の方に協力していただいて、校外学習に行くことで、子供たちの学びや体験が広がる。今後も継続してほしい。
- ・校外学習は自分のなりたい将来にも繋がっていくと思うので、地域の為に働いている大人たちの姿を見て、こんな大人になりたいという思いをもち、そんな大人になるために頑張ることができるようになってほしい。(主体性が身に付く)
- ・先生が明るく笑顔で問いかけ、子供が恥ずかしそうに発表していても良いところを取り上げ褒めていたので認めてもらうことで自信がつくと思う。(自己肯定感が上がる)
- ・学校の近くに商店や工場が沢山あり、さらにつばめボランティアの方々の協力があることで安心して校外学習に行くことができている。

(グループB 高橋 与人、鈴木 明子、市原 美智恵、土屋 里佳)

- ・体験が子供たちの心を動かす主体的な活動に繋がる。
- ・子供たちの興味をひく授業の導入や課題解決学習で子供の主体性が育まれる。
- ・6年生の演奏を聴いて、得意な子は主体性が出るが中には不得意な子もいる。そういう子が全体のバランスを考えて振る舞い頑張っている。

- ・食育が家庭の力になる。家庭と連携してやっていくことが大事。
(グループC 川合 正二、佐藤 穂、宮崎 由季)
- ・タブレットを用いることで授業に意欲的に取り組むことができ、効果的な学習のツールになっているが、操作スキルに個人差があるのが今後の課題。
- ・「分からない」「できない」「教えて」「教えたい」が言い合える。雰囲気がいよい。
- ・和気あいあいとお互いのつぶやきを拾いあうような授業で雰囲気がとてもよく、他のグループの考え方を知り、そこから自分たちの考えを広げたり深めたりしてる。
- ・教員から子供たちへ見通しを持たせ、それに向かって学習をし、自己解決する。
自分事として学ぶことで主体性が育まれていく。

議長が成果と課題を整理し、今後に生かしてほしいことについて委員から以下の発言があった。

- ・体験をこれからも進めていってほしい。(高橋委員)
- ・いろいろな職業があるが、地域の中にある地域に役立っている大人や地元の素晴らしい工芸品に目を向けてほしい。(川合委員)
- ・先生方の声掛けや表情が子供たちを引き付ける。(市原委員)

会長より学校へ以下の提案があった。

地域を素材にして積極的に学習していくことが大事で、それが安心してできているのはつばめボランティアさんのおかげである。今後も地域素材や体験活動を取り入れ、主体性を育む活動に取り組んでほしい。

その他連絡事項

- ・学校支援活動についての報告
学校支援コーディネーターから、別紙に基づいて2学期の活動報告があった。
- ・次回開催について
教頭から次回の学校運営協議会の日程について連絡があった。
次回議長選出について、伊藤委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。